

ひのはら 議会 だより

No. 185 2026. 5. 1

目次

ひのはらトップランナー	P2
令和8年度檜原村予算決まる	P3
予算質疑から注目予算をPickUp	P3～7
令和8年第1回定例会の議案と議決結果	P8
議案・補正予算をPickUp	P9～10
委員会・陳情報告	P11～12
一般質問 7人が村政を問う	P13～16

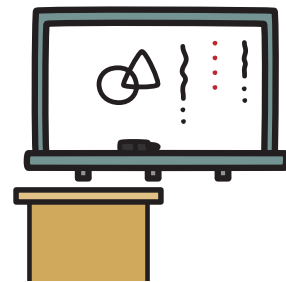
「檜原中学校生徒会役員」
のみなさん



5
月号



第7回 ひのはらトップランナー ～一人一人、みんなトップランナー～



檜原中学校 生徒会役員

令和7年10月から令和8年9月までの1年間の任期で「学校を良くしたい!!」という強い思いをもって活動している檜原中学校生徒会役員4名に今回はインタビューを行いました。



生徒会長：吉村 瑛太さん

Q. 生徒会本部役員として、どのような活動をしていますか？

A. ユニセフ募金や挨拶運動、3学年合同での活動（清掃など）を行っています。令和8年度からは小中一貫で取り組める活動を考えています。

Q. 活動の中で「やりがい」を感じる時はどのような時ですか？

A. みんなで協力して取り組んでいる時や、責任をもって学校のためにやっていることの実感が湧いた時です。

Q. 檜原村の好きなところ・自慢できるところはどこですか？

A. 自然が多いところや、お祭りなどの行事を通じて地域の人との関わりを深くもてる場所です。

Q. 「もっとこうなったらいいな」と思う地域の課題はありますか？

A. 交通面（歩道が狭い・バスの本数が少ない等）の改善と、村民同士の交流が村全体に広がり、それが継続されている村になってもらいたい。



生徒会副会長：石渡 飛鳥さん

Q. 「村議会」や「村議会議員」にどんなイメージがありますか？

A. 村民の意見を取り入れながら、村をより良くするための仕事をしているというイメージを持っています。



役員：田中 煌大さん

Q. 学校のことで「大人や行政に知ってほしいこと」はありますか？

A. 中学校にバリアフリーがないため取り入れたい。（多様な方々が過ごしやすい学校にするため）

Q. 地域の子供達に伝えたいことはありますか？

A. 「あいさつ」をしっかりとすること、生徒会活動や地域についてもっと関心をもってもらいたい。
(→みんなでより良い学校にするためと、村のことを知り、村を自慢に、そして大切にできる人になるため)

Q. 地域の大人たちへ伝えたいことはありますか？

A. 他ではなかなかできない経験や学習（サマースクールや海外派遣など）をたくさん積ませてもらい、とても充実した学校生活が送れています。いつも本当にありがとうございます。



役員：青柳 幸さん



会議風景

取材へのご協力、ありがとうございました。

令和8年度 檜原村予算決まる 令和8年第1回定例会 (3月2日~25日)

令和8年3月2日に予算特別委員会へ付託され、下記の8件の予算案を可決しました。

- ◆議案第3号 令和8年度檜原村一般会計予算
- ◆議案第4号 令和8年度檜原村国民健康保険特別会計予算
- ◆議案第5号 令和8年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計予算
- ◆議案第6号 令和8年度檜原村介護保険特別会計予算
- ◆議案第7号 令和8年度檜原村介護サービス事業特別会計予算
- ◆議案第8号 令和8年度檜原村後期高齢者医療特別会計予算
- ◆議案第9号 令和8年度檜原村簡易水道事業会計予算
- ◆議案第10号 令和8年度檜原村下水道事業会計予算

令和8年度檜原村予算概要

(単位：千円)

区分	令和8年度予算	令和7年度予算	増(△) 減額	増減率
一般会計	4,158,000	3,880,000	278,000	7.2
特別会計	1,379,000	1,313,000	66,000	5.0
国民健康保険	603,000	569,000	34,000	6.0
事業勘定	359,000	346,000	13,000	3.8
診療施設勘定	244,000	223,000	21,000	9.4
都民の森管理運営事業	134,000	129,000	5,000	3.9
介護保険	489,000	465,000	24,000	5.2
介護サービス事業	55,000	54,000	1,000	1.9
後期高齢医療	98,000	96,000	2,000	2.1
公営企業会計	822,224	834,508	△ 12,284	△ 1.5
簡易水道事業会計	510,610	499,567	11,043	2.2
下水道事業会計	311,614	334,941	△ 23,327	△ 7.0
合計	6,359,224	6,027,508	331,716	5.5

※簡易水道事業会計及び下水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し予算額としています。

令和8年3月9日、10日の予算特別委員会において、令和8年度檜原村予算案について審議され、委員より212問の質疑がなされました。

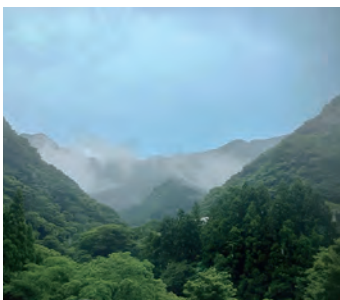
予算質疑から注目予算を Pick UP

歳入

森づくりの財源

森林環境贈与税

令和6年度以降、全国で約600億円の税込等を算定基準に基づき各都道府県、市区町村に譲与されている。令和6年度実績4,676万8,000円、令和7年度上半期の実績2,310万8,000円を基に算定している。今後は、令和7年度とほぼ同額(4,500万円)となると見込んでいる。



森林環境贈与税は森林管理などに使われます

多摩地域で檜原村だけ ゴミ有料化していない？

一般廃棄物処理手数料

事業所用ごみ専用袋の販売収入を一般廃棄物処理手数料として計上している。収入があるのは事業所用ごみ専用袋だけで、家庭用ごみ袋は袋の作成費用のみで販売されていて、一般廃棄物処理手数料は含まれていない。一部報道で多摩地域で檜原村だけゴミを有料化していないと言われるのはそのためである。

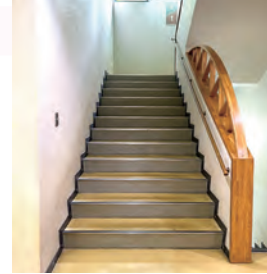
歳出

安全・安心な庁舎へ



役場本庁舎改修工事

1階会計課の窓口に防犯シャッターを設置し、防犯対策を強化する。併せて、庁舎の東側・西側階段の両側と、すべてのトイレに手すりを設置する。



庁舎東側の階段 ▶

村道を明るく照らす！



村道第67号総角沢線街灯新設工事

村民対話集会の際に要望があったため、LED ライトを9か所設置する予定である。

体験から移住・定住へ

移住体験住宅管理運営業務委託料

千足地区の移住体験住宅の管理運営の委託料。令和7年度の利用は月1、2件のペースで、令和8年度は、春～秋のハイシーズンを初めて迎えるので指定管理者の選定をした際の稼働率2割を目指す。指定管理者が地域おこし協力隊（令和8年3月卒業）で空き家、移住・定住に関する業務をやっていて、卒業後も移住・定住促進に携わるため、そちらと連携、情報共有しながら個別に対応し、移住者の増加に繋げることを目指す。

補聴器購入を支援



高齢者補聴器購入費助成金

村内在住の65歳以上で、障害者総合支援法の補装具費支給の対象とならない中等度難聴の方のうち、医師に補聴器の装用が必要と認められた方が対象。補聴器本体と附属品の購入費を、補助率10/10、上限7万円まで助成する。



自分に合った補聴器で快適に！

水質、水量改善につながるか？



湯久保地区浄水装置設置工事

以前から湯久保地区の上水は水量が多くなり、特にこの冬は水不足に悩まされていた。また、水質も山の水をそのまま使っていたため不安があった。この事業では湯久保地区の既存の簡易給水施設の途中にあるタンクに浄水能力1日15^m、膜ろ過方式の浄水装置を設置し、水質を改善する。また、新たな水源の水も引き込む予定で、その分の水が増える見込みである。

立体駐車場の耐震補強！

新

やすらぎの里立体駐車場補強工事

令和7年度の耐震診断で耐震性・強度の不足が判明したため、補強工事を行う。工事により2階屋上部分が駐車場として利用可能となる。やすらぎの里に勤務する村職員及び社会福祉協議会職員の通勤車両の駐車スペース確保が目的。15台を予定している。



やすらぎの里駐車場

地域の子供や住民の交流の場に

新

子供食堂運営費補助金

子供食堂への補助制度が始まる。対象経費は食材、消耗品の購入費、会場使用料、パンフレット等の作成経費、保険加費用等。実施場所はやすらぎの里、福祉センター、コミュニティセンター等を想定している。開催頻度は補助金を活用する場合には月1回以上基本的に実施する旨を要綱上定めている。

エアコン購入支援

新

低所得世帯エアコン購入費補助金

住民税の非課税世帯もしくは住民税均等割のみ課税世帯及び児童扶養手当の受給世帯で、エアコン未設置または故障・老朽化により使用できない世帯を対象に、購入費等を補助する。補助率は10/10、上限10万円、1世帯1台で40世帯を予定している。

将来のなんでも安心相談

新

単身高齢者等の総合相談支援事業委託料

ひとり暮らしの高齢者や障害のある方を対象に、将来の暮らしや不安について気軽に相談できる窓口を設置する。社会福祉協議会に委託し、本人や家族の相談に応じるほか、必要に応じ専門家相談も行う。元気なうちから将来の準備を考える支援を行う。

どんな施設になるかな♪

新

観光施設実施設計業務委託料

四季の里の敷地内に、木造3階建てプラス屋上階・約940平方メートルの新たな観光施設を設けるため、基本設計を基に詳細設計を行う。建物の内外装・外構工事を含む設計で、様々な方の意見を踏まえて進める予定で、パブリックコメントも検討している。



解体予定の四季の里

村の畑を守り、活用するために

新

農業用機械購入費補助金

村の農地を守るため、ガソリンや電気といった動力を使用する機械（耕運機、刈払機など）の購入を補助する。補助率は7/10、補助限度額は8万円を予定している。

ナラ枯れの伐採を継続中！

新

林道ナラ枯れ等伐採業務委託料

車両通行の安全確保のため、危険性の高い樹木から地権者の承諾を得て順次伐採を進める。ナラ枯れの影響が見られる風張林道周辺を中心に対応する。予算が不足した場合は補正予算で対応する予定である。

観光拠点、きれいなトイレでお出迎え

新

払沢の滝入口バス停トイレ建替工事实施設計業務委託料

令和6年度に檜原村内公衆トイレ調査を実施し、それに基づき優先順位の高いところから建て替えを予定している。具体的には、実施設計と解体工事設計を予定。どのような形で設計をしていくか検討を重ねていく。



払沢の滝入口のトイレ

南郷地区に新設！

新

柏木野公衆トイレ新築工事基本設計業務委託料

令和6年度の調査で、下元郷から上川乗地区にかけて公衆トイレが存在しないことが判明。南郷地区のやまぶき屋横に新設することとなり、敷地・地盤調査および基本設計業務を実施する。関係機関と連携し、より良いものを検討する。



新設予定地近くのやまぶき屋

空き家相談はこちらへ

新

空き家相談窓口設置業務委託料

西庁舎内に空き家相談窓口を設置し、現地調査や所有者からの相談対応を行っている。所有者の意向を踏まえ必要な手続きを整理し、関係機関との調整・案内を担う。令和6年度は51件、令和7年度も増加傾向にあり、体制強化を図りながら一件一件丁寧に対応している。

小林家住宅、新たな管理者募集へ

小林家住宅管理委託料

藤倉地区の重要文化財、小林家住宅の管理運営を委託するもの。現在委託している地元の任意団体が高齢化で管理の継続が厳しいということを受け、9月末までそちらに委託し、その後の委託先の事業者は公募で決定する予定。モノレール更新工事中は小林家住宅は開館せずに、委託業者には管理のみを行ってもらう予定。

名物のモノレール、コンパクトに

新

小林家住宅モノレール更新工事

小林家住宅の観光用モノレールの保守期限が令和8年6月末のため、令和8年7月から9月に更新工事を行う。現行のモノレールを設置した事業者から、現行と同様の3本レール・屋根付き・10人乗り（乗客9人）の特注品のモノレールと同じものは作れないと説明があり、同様の特注品を作れる他業者も見つからず、見つかったとしても5倍程度のコストが想定されるため、既製品で1本レール・屋根なし・8人乗り（乗客7人）のものを設置予定。安全対策として乗車時にヘルメットを貸与し、雨天時は雨がっぱを貸与する予定。また、枝の落下予防策としてモノレール軌道上の枝打ちなどを状況に応じて行うことを検討中。

軽トラ図書館、走ります

新

移動図書館車購入費

老朽化した現行の中型車両を、軽トラックに本棚をつけた車両に更新する。積載数は3,000冊から約500冊に減少するが、配達等による貸出しが多いためサービス面での影響は小さい見込み。普通免許で運転可能なため、より多くの職員が運転でき安定的な運行が見込めるほか、維持管理や燃費の面でも効率化を期待している。



現行の図書館車

いつ開通するの？

瀬戸沢林道（第2工区）災害復旧工事

林道斜面上部において、のり砕工や鉄筋挿入工による復旧工事を実施している。工事は順調に進んでおり、令和11年度の開通を見込んでいる。ただし被災斜面の状況により、開通時期が1～2年程度延びる可能性もある。

企業研修を誘致

新

森林体験企業研修委託料

檜原都民の森の魅力を体験してもらい、平日や閑散期の来園者増加を図るため、企業研修や学校利用の促進を行う。企画担当者や決定権者等へのプレ体験を実施し、企業研修利用につなげる仕組みづくりを進める。年間2回、30人程度で実施予定。

令和8年第1回定例会で 審議された議案と議決結果

議長 野村 雅巳 ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議員名	議席番号								議決結果
			1	2	3	5	6	7	8		
			松岡賢二	山崎源重	嶋崎佐有理	田中惣一	青木亮輔	中村賢次	峰岸茂		
予算	第3号	令和8年度檜原村一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第4号	令和8年度檜原村国民健康保険特別会計予算 (事業勘定、診療施設勘定)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第5号	令和8年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第6号	令和8年度檜原村介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第7号	令和8年度檜原村介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第8号	令和8年度檜原村後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第9号	令和8年度檜原村簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第10号	令和8年度檜原村下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	条例	第11号	檜原村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		第12号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号		檜原村乳児等通園支援事業の設備及び 運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
第14号		檜原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
第15号		檜原村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
第16号		檜原村下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決	
計画	第17号	檜原村過疎地域持続的発展計画 (令和8年度～令和12年度)について	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	第18号	令和7年度檜原村一般会計補正予算(第6次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第19号	令和7年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算 (事業勘定第3次、診療施設勘定第3次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第20号	令和7年度檜原村東京都都民の森管理運営事業 特別会計補正予算(第3次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第21号	令和7年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第22号	令和7年度檜原村介護サービス事業特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第23号	令和7年度檜原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第24号	令和7年度檜原村簡易水道事業会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第25号	令和7年度檜原村下水道事業会計補正予算(第3次)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
陳情	第1号	四季の里建て替えに関する陳情	○	×	○	×	×	×	×	不採択	

この議案を
Pick UP!

この議案を
Pick UP!

議案 Pick UP 

議案第13号

檜原村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

「こども誰でも通園制度」始まります！

保育所等に通っていない0才6か月～満3才未満の子どもを月10時間の枠内で保育所等に通わせることができる「こども誰でも通園制度」を村で始めるため、設備と運営について定める条例。通常の保育所等の利用や「一時預かり」が保護者の立場からの必要性に対応するものであるのに対し、この制度は家庭に在るだけでは得られない経験を通じて子どもの成長を応援することが目的。利用には事前に申請や認定が必要になるため、利用を検討の方は村の福祉けんこう課にお問い合わせを。

議案第17号

檜原村過疎地域持続的発展計画

課題と対策を明文化

第6次檜原村総合計画との整合性を図り、令和8～12年度を計画期間とする「檜原村過疎地域持続的発展計画」を策定する。住民への公開方法について、当初は企画財政課窓口での閲覧のみとする方針だったが、ホームページ等での公開を今後検討していく。

歳出

補正予算を Pick UP 

伐採跡地の植栽も検討

減

搬出困難地における森林整備事業費補助金

搬出困難地における森林整備事業補助金は、当初1,000万円を計上していたが、所有者との調整により対象面積が縮小したことで契約差金により減額となった。

本補助金は伐採に加え伐採補償なども対象であるが、植栽は現時点で未調整だったため、今後東京都と調整し対応を検討する。

クマの影響がここにも

減

入湯税

入湯税は日帰り・宿泊入浴者数に応じて課税されるが、利用者数の見込み減少により減額となった。その要因として熊の出没報道による風評被害があり、多摩地区での熊の目撃情報が相次いだことで、檜原村でも熊が出没するのではないかと不安が観光客離れにつながったと村では分析している。

今後の対策として、出没場所の周知や安全対策についてホームページ・防災無線で情報発信するとともに、近隣市町村とも連携しながら観光客の回復に取り組む方針。



ハイカーに人気の数馬の湯



東部地区に約 3400㎡の住宅用地！

公有財産購入費

上元郷地区の住宅用地の用地交渉の目途がついたため、その購入費用が計上された。今回購入する土地は2筆で1040㎡。今までに購入した土地と合わせると3407㎡になる。村は、今回の購入でまとまった土地が確保できるため、住宅建設に向け、地元での協議や測量から事業を進めたいとしている。



保育園の定員、園児数減

保育所運営委託料

令和7年度当初予算は40名の計算で計上していたが、令和7年4月1日から保育園の定員数を45名から30名に減らし、人数が減ったため減額補正している。



ポスター掲示板設置箇所数が減少

ポスター掲示場設置及び撤去業務委託料

都議会議員選挙は工事差金により減額となった。参議院議員選挙は候補者増に伴い掲示板の大型化が必要となり、安全に設置できる場所が限られたため、設置箇所を従来の36か所から16か所に縮小したことが減額の主な要因。なお、衆議院議員選挙では17か所に設置した。今後は住民周知に配慮しつつ適正な設置箇所を検討する。

6月議会のお知らせ (予定)

・ 議会運営委員会	5月 20日 (水)
・ 定例会初日 (一般質問)	6月 2日 (火)
・ 常任委員会	6月 4日 (木) 6月 5日 (金)
・ 定例会最終日	6月 12日 (金)

議員の辞職について

田中惣一議員より、令和8年3月31日をもって、一身上の都合により辞職する旨の辞職願が提出されました。

副議長就任のお知らせ

令和8年4月21日開催第2回臨時会において、青木亮輔議員が副議長に就任しました。

令和8年3月12日に以下の2点について、所管事務調査を行いました。
総務委員長 中村 賢次

図書館の蔵書検索機能等について

檜原村立図書館では、公式ホームページ内で図書館にある蔵書全てを検索できるようになりました。



パソコンを見ながらレクチャーを受けました



図書館のホームページ
(スマホ版)



QRコードを読込んで
図書館ホームページへ

檜原小学校電子黒板の使用方法等について

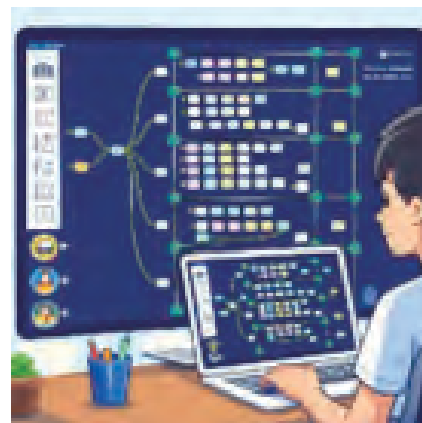
檜原小学校では、令和2年に電子黒板を導入しました。

メリットはタッチ操作で児童自身が操作に参加できるため、主体的な学びを引き出せます。さらに板書内容のデータ保存により、先生の授業準備や記録作業の負担軽減にもつながります。

また、現在児童が利用している「ロイロノート」というタブレット学習ツールも紹介していただきました。児童の考えを見える化して、共有や発表がしやすくなるようで、先生もとても便利に利用されていました。



1年生の教室でレクチャーを受けました



ロイロノートのイメージ

陳情第1号

四季の里建て替えに関する陳情

産業建設委員会

【陳情の趣旨】

四季の里基本設計については、今後の一定の指標になるものと思われるが、必要に応じた見直しも選択肢から排除せず検討してください。関係事業者や住民と検討会の設置や目的を定めた対話集会など設計事業者を含めた意見交換会の場を求めます。

委員会での主な意見

- 四季の里周辺で以前より事業を営んでいる他の事業者や地元・本宿地域の意見を集約し同意を得たうえで、陳情を提出されることが本来望ましい。
- 実施設計にあたって、村はこの陳情が求めるような村民全体への説明会の実施や意見聴取を行う予定のため、不採択と考えます。
- 弘沢の滝観光施設は村にとって重要な施設であり、幅広い事業者・住民からの意見を取り入れ、必要に応じた見直しや意見交換の場は必要なため、採択と考えます。

委員会での審査結果は挙手多数で「**不採択とすべきもの**」となり、その後、本会議での討論を経て「**不採択**」が議決されました。

コラム

議会事務局をたずねて・・・



Q. 議会事務局出向前後での意識の違いは？

A. 事務局長

議会事務局に赴任して1年が経過しましたが、当初は不安しかなかったですが、「予算をどのように使っていくかという立場」と議会では「予算の使い方を審査するという立場」での意識の違いが大きいと感じています。

A. 係長

今年度異動したばかりで、これまでの役場の仕事と全く違うので、転職したつもりで一生懸命に頑張っています。

Q. ストレス解消法は？

A. 事務局長

ソフトボールやランニング、登山などアクティブに過ごすことが多いですが、最近のマイブームは、素材にこだわったスープづくりや自家製パンづくりなどを楽しんでいます。

A. 係長

ガーデニングが趣味で、特に南国植物に興味があり、ヤシの木やプルメリア、ストレリチアなどを育てています。食べた後のパイナップルを育てることに挑戦して、2年かけ収穫しおいしく食べました。

Q. 仕事のやりがいは？

A. 事務局長

議会は、法令等に従って運営されていますが、これまで檜原村で培ってきた慣例も重視しつつ、時代に合わせた改善の必要性など、他市町村議会等を参考にして、気持ちのよい議会運営ができればと考えています。

Q. やってみたいことは？

A. 係長

ペーパーレス化や議会映像配信等の調査研究を行ない、議員皆様の声もお聞きしながら、長期的な視点で取り組んでいけたらと考えています。



一般質問登壇7人 村政を問う

3月議会の一般質問は3月18日に行われました。内容は、要約して掲載しています。

峰岸 茂 議員 南北トンネル建設再開のための 要望活動について



動画はこちらから

東京都の動向を注視し 要望活動を進めていきたい

問 南郷地区と樋里地区を結ぶ南北道路建設は、今から41年前に当時の中村村長が東京都へ「南北道路建設の要望書」を提出したことにより事業化されたが、財政状況悪化などの理由から休止になってしまった。その後、村は事業の再開を願う、当時の坂本村長、現吉本村長が東京都建設局長や都の関係部局へ「トン

ネル建設再開の要望書」を提出したと聞くが、要望書提出後の
① 東京都の動向は。
② 目的達成のための住民による促進協議会等が近隣の市町には組織されているが、村はこのような組織をどのように捉えているか。

答 ① 村内における主要事業である秋川南岸道路の早期着工と本宿橋の早期完成を進めている状況にあり、南北トンネルの早期再開は、難しい現状にあると認識している。

② 地域住民による促進協議会の発足は、多変重要なことだと認識している。今後、村議会・地域住民の方々が一体となり、早期再開を促進していければと考えるが、秋川南岸道路及び本宿橋の早期完了も村にとって重要な事であるので、東京都の動向を注視し要望活動を進めていきたい。

中村 賢次 議員 火災警報器 について



動画はこちらから

令和8年度中、 新たな補助制度を構築！

問 村では、平成18年度から申請した家庭全戸に火災警報器を無償で設置した。最近、消防の広報やメディア等で火災警報器の寿命が10年であることを知った。そこで伺う。
① 現在までの設置個数は。
② 現在の設置の補助制度は。

答 ① 第1期（平成18年度から平成21年度）として、88世帯、4,457個。第2

期（平成27年度から令和4年度）として、501世帯、2,327個の機器更新及び5世帯24個を設置している。
② 1世帯2万円を限度に補助金を交付したが、所期の目的を達成したとの判断から、令和4年度をもって終了している。

問 火災警報器は、火災から生命・財産を護る最初の砦だと考える。檜原村では昨年10月、火災による死者ゼロ5,000日を達成した。この記録をさらに延ばすためにも補助金の復活を強く期待するが、村長如何か。

答 悲惨な火災事故から生命を守るためにも、10年を経過している警報機については、令和8年度中、秋の火災予防運動前項までに財源確保ができたなら新たな補助制度を構築し、設置を進めていく。

問 こんな質問もありました
ACCP(アドバンス・ケア・プランニング)人生会議)について村の考えは
答 地域の取組、認知を支援する

問 檜原都民の森周辺は貴重な自然環境を有し、静寂環境の保全が重要である。一方、奥多摩周遊道路では交通量の増加や二輪車の騒音が課題となっている。現状の交通量及び騒音の把握状況と、自然環境保全の観点からのマイカー規制の可能性について伺う。また、規制時における観光促進策として、武蔵五日市駅から奥多摩摩駅を結ぶ路線バスの可能性と自然環境

青木 亮輔 議員

村の自然環境保全に向けた周遊道路マイカー規制の可能性について



動画はこちらから

マイカー規制は困難

を基軸とした環境先進地域としての将来像について伺う。

答 静寂環境の重要性は認識している。交通量調査は東京都が実施しているが、騒音調査は行っていない。マイカー規制は生活利用や観光への影響から慎重な検討が必要であり現時点では困難である。公共交通については東京都及び事業者と必要性を検討する。関係機関とは定期的に協議しており、今後も環境先進地域の実現に向け東京都と連携し検討していく。



檜原都民の森のセラピーロードでの野鳥観察

問 こんな質問もありました
答 新たな森林資源活用と都民の森戦略について
 自然環境を生かした施策の一体化を目指して調査する。

山崎 源重 議員

地方交付税と総合交付金について



動画はこちらから

交付税及び総合交付金の確実な確保に向け、適切な行政運営を行っていく

を計上している。健全な財政運営のため、同様の方針の下、予算編成を行っていく。不測の事態に備えつつ、基金を有効活用し、最小の経費で最大の効果が得られるよう、住民福祉の向上を目指していく。

問 より多くの福祉の向上を目指すときに、基金の積み増しは矛盾している。

答 住んでいる住民の皆様を大切にし、この村に誇りを持ち、快適に生活ができるよう、職員と一体となって政策を進めていく。

問 地方交付税と総合交付金、入金される額の84%〜87%程度の予算で組まれている。

答 地方交付税と総合交付金、それぞれ今後の推移をどのように考えているか。

問 地方交付税と総合交付金、それぞれ今後の推移をどのように考えているか。





田中 惣一 議員

人口・世帯数減少下における窓口サービスの維持について

サービス水準の指標・基準について検討していく



動画はこちらから

問 人口減少時代における窓口サービスは「縮小するかどうか」でなく「どうすれば持続可能な形で維持できるか」という観点で再設計すべきと考える。窓口サービスの維持にあたり、どの水準を守るのか、今後の基本方針をどう考えているのか。

答 現状の開庁時間を維持し、現行どおり手厚い窓口サービスを実施していく。今後の方針としては

「現在の窓口サービスの維持」「住民とコミュニケーションが上手に取れること」「的確・迅速な案内をすること」「取り入れられるDXは取り入れ、住民が不便と感ぜない窓口サービスを提供していくこと」も重要と考えている。

問 「維持する」とは具体的に何を以て判断するのか。サービス水準の指標や基準がなければ空約束になりかねない。示せるものはあるのか。

答 現在、窓口サービスの指標・基準はない。しかし、窓口に来た住民が、目的を達成して、気持ちよくお帰りいただくことは常に心掛けて実践している。今後、窓口サービスの向上のため、サービス水準の指標・基準について検討していく。



松岡 賢二 議員

払沢の滝の観光拠点建設について

事業者及び観光協会にはヒアリングと意見交換の場を設けたい



動画はこちらから

問 実施設計に当たりどのような住民や事業者から意見を聴くのか。

答 払沢の滝周辺の事業者及び観光協会にはヒアリングと意見交換の場を設けたい。地元住民を含む村全体には説明会を設け、パブリックコメントを実施したい。5月頃から順次実施できるように進める。

問 基本設計の内容は。

答 敷地面積は1,514.05㎡、建築面積が354.79㎡、木造と鉄骨

造のハイブリッド構造で3階建てプラス屋上階。特産品等販売、観光案内、飲食提供及び多目的スペースを含めた複合施設。

問 基本設計の内容の修正もあり得るか。基本設計の前に住民や事業者から意見を聴く機会があってもよかつたのではないか

答 基本設計は内容を修正することは考えていない。村側で必要と思われる用途や構造等を基本設計に取り入れ、それをベースに意見を伺い、建築する体制は、妥当な順序であると考えている。



観光施設四季の里

問 こんな質問もありました
 施政方針と選挙公約について木質高層建築は実現に向け一歩前進。産業廃棄物については条例整備の研究を継続、必要な措置を講じ、環境保全対策を進める。

問 観光シーズンやイベント時の駐車場不足・交通混雑の現状について村はどのように認識しているか。

答 観光客の駐車場確保は地域住民の安定した生活を確保する上でも重要な課題と認識している。

問 奥多摩町では予約制駐車場シェアリングサービスを展開するアキッパ株式会社と連携し、民有地の空きスペースを活用してい

嶋崎 佐有理 議員
観光シーズンにおける観光客の駐車場について



動画はこちらから

近隣の先進事例を参考に協議する

問 こんな質問もありました
村のこれまでのごみ減量施策の効果は。
答 粗大ごみは昨年比約10トンの減量。食用油は約2,000リットルを回収。



奥多摩町のアキッパ駐車場

答 令和元年度・2年度に検討を行ったが体制構築に至らなかった。しかし、ITがますます進む現代では、大変効果的な手段と考えている。近隣の先進事例を参考にサービスの導入・普及に向けて、観光協会等と改めて協議する。

この仕組みは行政が新たに駐車場を整備することがなく、土地所有者は遊休地の活用や副収入に繋がる仕組みである。村でもこのような民間事業者との連携や協力提携について調査・研究を行う考えはあるか。

編集後記

3月議会の準備に追われる中、気づけば寒かった冬が過ぎ、議会の終了とともに一気に春が訪れていました。今年の春は例年に比べて花粉の飛散が多かったように感じました。花粉の飛散が多い日は、まるで山火事の煙のように見えていましたが、花粉症の方は辛い春だったのではないのでしょうか。

また、昨年秋から降水量が極端に少ない状態が続いており、これほど雨を待ちわびた年も珍しかったですね。村内では水不足により大変なご苦勞をされた地域もありました。今年1月1日より「山林火災警報」の運用が、そして4月1日より「山林火災注意報」の運用も開始されました。山火事の発生件数は春の3月がピークで5月まで多い傾向が続きます。まだまだ、油断せずに火の取り扱いは気をつけましょう。

さて、春は出会いと別れの季節でもあります。新たな体制のもと、これからもより分かりやすく、より身近な「議会だより」となるように努めてまいります。

委員長 嶋崎 佐有理
副委員長 松岡 賢二
委員 青木 亮輔

ひのほら議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます。

